



みついし花き振興会 切花品評会 7/8

栽培農家の技術と品質向上を目指して、みついし花き振興会（桐山昭彦会長）による『第9回切花品評会』が町福祉センターで行われました。審査には、道内外からの専門家などがあたり、出品されたデルフィニウムやスターチスなどの作品に対し、真剣な表情で採点していました。桐山会長は「この品評会は、生産者の技術の高さを競っているものです。花を見てもらい、市場の方にもますますPRしていただきたい」と話しました。



新ひだか町善行表彰 7/2

今年5月、町へふるさと応援寄付として多額の寄付をされた相原榮子さん（旭川市）に、善行表彰を贈りました。これは、二十間道路桜並木の保全及び整備等の資金などとして、町へ寄付されたことによるもので、相原さんは「小さい頃に旧静内町に住んでいて、特に二十間道路桜並木には、思い出があります。これからも桜並木を大切にしてほしい」と話し、酒井町長は「大切にに使わせていただきます」と感謝を述べました。



消防・防災航空隊合同連携訓練 6/29

日高中部消防組合消防本部と北海道防災航空隊の合同訓練が静内海岸町で行われ、参加した消防隊員らは、真剣な表情で訓練に臨んでいました。訓練では、航空隊の隊員がヘリから降下する際の一連の流れを説明。実際に消防隊員と航空隊員が二人一組になって、ホバリングしたヘリからロープを使っての降下訓練のほか、林野火災に備えヘリから散水する訓練も行い、災害時に備えていました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



白寿祝状授与 7/12

三浦與三吉さんが白寿を迎え、入院先の病院で、本人に代わり、長女の森米子さんが酒井町長から祝状、蚊野好美町社会福祉協議会会長から記念品を受け取りました。與三吉さんは、根室でのホタテ漁や定山溪での木工の仕事などを経て、38歳の時に旧三石町に移り住み、機関士の仕事に就きました。お祝いの言葉に米子さんは「ありがとうございました」などと話していました。



『とねっ子』コンサート 7/3

町サポート大使である指揮者の武藤英明さんと市民オーケストラの八雲オーケストラによる『とねっ子』コンサート（同実行委員会主催）が町公民館で行われ、約500人の町民が会場を訪れました。このコンサートは、新ひだか町誕生5年を記念して行われたもので、ドボルザークなどの楽曲の演奏のほか、アンコールでは静内第三中学校吹奏楽部のメンバーも演奏に参加。来場者は、オーケストラが奏でる音色を楽しんでいました。



ソフトテニス少年団全国出場挨拶 6/30

「第27回全日本小学生ソフトテニス選手権大会」への出場を前に、東静内小学校6年生の原拓斗さん、富永健成さんペアが、役場静内庁舎を訪れ、町長に健闘を誓いました。これは、5月に三笠市で行われた北海道小学生ソフトテニス選手権大会で優勝し、全国出場を決めたもので、2人は「ペアで力を合わせて、北海道のテニスをやりたい」と話し、町長は「頑張ってきて下さい」とエールを送りました。



レキシントン市友好親善訪問団来町 6/18~6/27

昭和63年に姉妹都市提携を結んだアメリカ合衆国ケンタッキー州レキシントン市から、友好親善訪問団10名が来町し、町内でホームステイをしながら交流を深めました。青少年訪問団の来町は今回が17回目で、滞在中は町内の中学校や高校への訪問、町内外の見学などを行いました。各学校では授業に参加したり、書道や剣道体験などを通じて日本の文化を学び、同世代の子どもたちと、ふれ合っていました。



コスモスロード植栽 7/16

桜の名所『二十間道路』をコスモスでいっぱいにと、コスモスの植栽が行われ、参加した静内農業高校の生徒やボランティアの町民ははていねいに苗を植えていました。



戦没者追悼式 7/13

戦火で犠牲になった方々のめい福を祈るため、町戦没者追悼式が町公民館で行われ、参加した遺族や関係者は、菊の花を献花し、恒久平和への誓いを新たにしていました。



障がい者乗馬大会 7/11

障がいのある人にも、馬とふれあいながら乗馬競技を楽しんでもらおうと、ライディングヒルズ静内で『第2回障がい者乗馬大会』が行われました。



海物語 in みついし 6/22

水産業振興などを目的に、ひだか漁業三石地区青年部による『海物語 in みついし』が三石小学校で5年生を対象に行われ、サケ定置網漁業の学習などを通じ、漁業への理解を深めていました。